

京都芸術劇場ニュースレター



12月5日(木)–23日(月・祝)

四代目市川猿之助襲名記念
京都芸術劇場 春秋座 芸術監督就任記念

「猿之助への軌跡展」

今年の5月に春秋座芸術監督に就任した市川猿之助。就任後、早々に行われた朗読劇『お文の影』『野槌の墓』では、絶妙な語りの演技を見せてくれました。あれから、また各地を襲名披露公演で駆け巡り、一般演劇などにも数多く出演され、まさに席の温まる暇もなく大車輪の活躍ぶりです。

そしていよいよ12月より春秋座における芸術監督企画が始動いたします。公演先の猿之助にコメントをいただきました。

「昨年6月、7月に東京新橋演舞場で始まりました二代目猿翁・四代目猿之助・九代目中車襲名披露公演も、その後、大阪松竹座、名古屋御園座、福岡博多座を経て、いよいよ本年師走の京都南座顔見世において大千種楽を迎えることとなります。

そこで今回春秋座では、芸術監督就任記念として『猿之助への軌跡展』を同時開催する運びとなりました。齋藤芳弘氏の撮影による大迫力の舞台写真を中心に、新たな猿之助の世界をお楽しみください。

また、来年の2月には特別舞踊公演を企画いたしております。こちらは昨年より開催されています宇和島歌舞伎の引越し公演となります。宇和島の藩主が伊達公ということで、その「伊達」にちなんだ舞踊二題をお届けいたします。

1人でも多くの方々に足を運んでいただき、この素晴らしい環境に囲まれた劇場をご覧いただくことを願っています。」

今回の『猿之助への軌跡展』では、春秋座独自のコーナーを設け、劇場柿落しから「亀治郎の会」旗揚げ公演など、ここでしか見られない猿之助の魅力を存分にお伝えし、来年2月の『四代目市川猿之助 春秋座特別舞踊会』では、粹で艶やかな歌舞伎舞踊の醍醐味を芸術監督がたっぷりと披露いたします。どうぞご期待下さいませ。

京都芸術劇場プロデューサー 館野佳嗣

特集

四代目市川猿之助襲名記念
京都芸術劇場春秋座芸術監督就任記念

「猿之助への軌跡展」

ここでしか見られない猿之助の姿を

— 1P・2P

春秋座—能と狂言

好評！春秋座恒例の能と狂言の会

— 4P

ダンスゼミ&ラボ vol.2/3

未来のダンスのためのスカラシップ

— 5P

第13回『演じる高校生』

高校演劇コンクール近畿大会優秀校

— 7P

舞台芸術作品の創造・受容のための 領域横断的・実践的研究拠点

— 8P

松田正隆×松本雄吉×タルコフスキー

石のような水

— 3P

構成・演出：渡邊守章、映像・美術：高谷史郎による

『葵上／二重の影』

— 5P

演じるシニア企画 2013

レジェンド・オブ・LIVE

— 6P

舞台芸術学科 2013 年度

第4期生卒業制作公演

— 7P

舞台芸術アートマネジメント人材 育成事業

— 8P

ここでしか見られない
猿之助の姿を

「猿之助への軌跡展」

12月5日(木) - 23日(月・祝)
休館日 9・10・16日

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

2012年6月に二代目市川亀治郎を改め四代目を襲名した市川猿之助。2013年5月には市川猿翁(三代目猿之助)の跡を継ぎ当劇場の芸術監督に就任いたしました。

当劇場は亀治郎時代に春秋座柿落とし公演(2001年5月)での「春秋三番叟」の出演を始め、自身の研鑽の場である「亀治郎の会」を第1回から計5回(2002年~2008年)開催するなど、猿之助にとって大変ゆかりの深い劇場です。

今回の展覧会では、二代目市川亀治郎時代から四代目猿之助襲名に至るまでを大迫力の舞台写真で辿り、自身お気に入りの舞台衣裳の展示とフィルム上映も合わせて行います。美しく立体的な刺繍で彩られた豪華な舞台衣裳は、自身の会で仕立てた世界で一つの贅沢なもの。また春秋座での「亀治郎の会」の写真や映像、芸術監督就任記者発表の様子など、ここでしか見られない貴重な資料や映像も見ものです。

さらに、「義経千本桜・川連法眼館(通称・四ノ切)」の稽古から本番までを収めた45分のドキュメンタリーフィルム「KABUKU」も上映いたします。義経千本桜といえばこの「四ノ切」といわれるほど。早替り、階段抜け、欄干渡り、欄間抜け、最後に桜吹雪の中の宙乗りと、息もつかせぬ見せ場の連続で、何と舞台裏までお見せするという貴重な映像です。

ここでしか見られない猿之助の魅力を存分にご堪能ください。



※写真はイメージです。



春秋座でしか見られない!

春秋座オリジナル展示

亀治郎時代に出演した春秋座柿落とし公演(2001年5月)での「春秋三番叟」を始め、「亀治郎の会」旗揚げの第1回から計5回(2002年~2008年)の貴重な資料や映像などは要チェックです。

春秋座芸術監督プログラム

**市川猿之助
春秋座特別舞踊会**
2014年2月3日(月)

市川猿之助が長唄・鳴物連中を従え、「助六」と本拵で「女伊達」を上演。粋で艶やかな江戸男と江戸女の向こう意気の強さを見事に演じ分けるのが見どころです。

また、歌舞伎囃子方・田中傳次郎とのトークショーなども開催。趣向を凝らした魅力的な構成でお送りします。

松田正隆×松本雄吉×タルコフスキー 「その後」の世界を描くSFメロドラマ!

11月28日(木)/29日(金)/30日(土)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

石のような水

タルコフスキーが小津に?! 松田正隆が書く会話劇の妙。

旧ソ連を代表する映画作家アンドレイ・タルコフスキー(1932-86)。この秋、彼の残したいくつかの作品をモチーフに、劇作家・松田正隆(マレピトの会)と演出家・松本雄吉(維新派)が、今日的な視点から大胆な視覚化・空間化を試みるオリジナルの演劇作品『石のような水』を春秋座で上演します。タルコフスキーが1979年に発表した『ストーカー』は、「ゾーン」と呼ばれる謎の立ち入り禁止の廃墟に、三人の男(文学者、科学者、ゾーンのガイド役=ストーカー)が踏み込んでいく異色のSF作品です。奇しくもタルコフスキーが死去した年に勃発したチェルノブイリ原発事故によって生じた、半径30キ

ロの立ち入り禁止区域は、まさに「ゾーン」と呼ばれるようになりました。そして〈3.11〉以降、私たちと「ゾーン」との関係は避けられないものになりました。これからのエネルギー問題を語るよりも、すでに世界に放出された目に見えない「穢れ」と向き合うことが人間が逃れようのない「恥辱」であり、演劇者としてその「穢れと恥辱」について創作を怠らないことが大事だと語る劇作家・松田正隆が、今回はそのタルコフスキーのSFのモチーフを小津安二郎などの手法を用いて、正統なドラマを描きます。

撮影:塚原悠也(contact Gonzo)



作……………松田正隆 演出・美術……松本雄吉

参照作品:『ストーカー』、『惑星ソラリス』等
(いずれもアンドレイ・タルコフスキーの映画作品)

STORY

ある都市にある高層アパート群。かつて、その都市の近郊に隕石が落ちて、巨大な穴ができた。世界各地から多くの調査団が組織され、その穴への来訪が相次いだ。何度も穴の調査がなされたが、そこから人々が戻って来ることはなかった。穴の中心から周辺30キロメートル圏内を人々はゾーンと呼び、政府はそこを立ち入り禁止区域に指定した。

出演者

山中崇、占部房子、武田晁
小坂浩之、酒井和哉、筒井潤、西山真来、幡司健太、増田美佳、森正史、山口恵子、和田華子

「マレピトの会」「維新派」とそれぞれのカンパニーで、ジャンルとしての演劇のあり方を問い直そうとする作品を上演してきた二人の作家が、本作においては、あえて正攻法の作劇術に立ち返り、〈3.11〉以後の世界を生きる私たちに必要な「未来」の構想を共同で、春秋座に立ち上げます。どうぞお見逃しなく!



松田正隆/マレピトの会



松本雄吉/維新派

舞台芸術16号 [2012年3月発行] バックナンバー
こちらに2人の対談が収録されています。
併せてお読みください。

松本雄吉×松田正隆 対談 新しい「劇場=演劇」の形

1500円(税別)

企画・編集: 京都造形芸術大学舞台芸術研究センター



春秋座 — 能と狂言

恒例となりました春秋座での能狂言も、今年度は、観阿弥生誕六百八十年、世阿弥生誕六百五十年記念ということもあって、三回も公演を持つこととなりました。

今回は、能も狂言もポピュラーな演目を選びました。能は観世鏡之丞師のシテで『船弁慶』を、狂言は野村萬斎さんを中心にした『棒縛』ですが、『船弁慶』の間の船頭を野村万作師がなさるのも、狂言の劇的「語り」の例として貴重です。『船弁慶』は、前段と後段でシテの演じる人物が変わる形の能で、前段は、平家滅亡後に、兄の頼朝から追われる身となった義経が、愛人の静と別れる情景で、シテは傷心の静を演じます。やがて大物の浦から船出して北陸道へと逃れようとする海上の義経一行を突然の嵐が襲い——この海上の逃避行が間の語りの見せ所です——、その中から、壇ノ浦に沈んだ平家一門の怨霊が現れ、なかでも平中納言知盛の亡霊が、長刀を振るって義経一行の船に迫ります。義経が立ち向かおうとするのを弁慶が押し留めて、法力で怨霊を退散させます。シテが、前段では恋人と別れる哀傷の美女を演じ、後段では勇壮かつ怨念の塊である悲劇的武士を演じるという、能の演劇的な局面をよく見せてくれる作品です。

後世の作品への影響も強い作品で、たとえば文楽人形浄瑠璃の『義経千本桜』の「渡海屋の段」は、能の詞章や演出を、ほとんどそのまま嵌め込んで使っていますし、それはこの作品の歌舞伎ヴァージョンでも変わりません。更に、明治以後の「松羽目物」(能狂言の歌舞伎化)でも、『船弁慶』は人気曲の一つでしょう。こういう、言わばポピュラーな作品も、歌舞伎との対比を知るためにも、見ておく必要があると思います。

狂言『棒縛』もポピュラーな作品で、留守中に酒蔵の酒を飲まれないようにと、召使の太郎冠者と次郎冠者を縛って出かけた主人の裏をかいて、酒蔵に入りこみ、酒を飲んで泥酔した召使二人が、主人の悪口を散々に言い合っているところに帰ってきた主人を、逆になぶって逃げて行くという、「価値の転倒」の喜劇です。
企画・監修：渡邊守章(京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授)



狂言「棒縛」



能「船弁慶」

狂言	子方 源義経 片山 清愛	後シテ 平知盛ノ怨霊	前シテ 静御前	能	子方 源義経 片山 清愛	後シテ 平知盛ノ怨霊	前シテ 静御前
棒縛	シテ 太郎冠者 野村 萬斎	アト 小アト	次郎冠者 石田 幸雄	船弁慶	ワキ 武蔵坊弁慶 宝生 欣哉	ワキツレ 義経ノ従者 宝生 朝哉	ワキツレ 義経ノ従者 宝生 朝哉
	大鼓 亀井 広忠	小鼓 大倉源次郎	大鼓 前川 光範		大鼓 亀井 広忠	小鼓 大倉源次郎	大鼓 前川 光範
	梅田 博重	橋本 忠樹	片山 九郎右衛門		大鼓 前川 光範	小鼓 大倉源次郎	大鼓 前川 光範
	河村 博重	清水 寛二	片山 九郎右衛門		大鼓 前川 光範	小鼓 大倉源次郎	大鼓 前川 光範
	河村 博重	清水 寛二	片山 九郎右衛門		大鼓 前川 光範	小鼓 大倉源次郎	大鼓 前川 光範
	河村 博重	清水 寛二	片山 九郎右衛門		大鼓 前川 光範	小鼓 大倉源次郎	大鼓 前川 光範
	河村 博重	清水 寛二	片山 九郎右衛門		大鼓 前川 光範	小鼓 大倉源次郎	大鼓 前川 光範
	河村 博重	清水 寛二	片山 九郎右衛門		大鼓 前川 光範	小鼓 大倉源次郎	大鼓 前川 光範
	河村 博重	清水 寛二	片山 九郎右衛門		大鼓 前川 光範	小鼓 大倉源次郎	大鼓 前川 光範

プレトーク開催決定! 本公演の前に14:30よりプレトークを行います。
松岡心平(能楽研究家、東京大学大学院教授)
×
渡邊守章(演出家、京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授)

機関誌『舞台芸術』18号 2014年3月発売予定

2002年に刊行された舞台芸術研究センター機関誌『舞台芸術』は、京都芸術劇場で行われる舞台芸術研究センター主催の実験公演や研究活動を報告する場であり、そのプロセスを公開する場でもあります。
各号ごとに特集を設け、古今東西のパフォーミング・アーツを今日の視点で切り取り、21世紀における舞台芸術の新たな可能性について考察します。

定価：1500円(税別)
お申込み、企画・編集：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター

【主な収録予定テーマ】
世阿弥生誕650年を記念して
「世阿弥の精神と能楽の未来」観世清和インタビュー
聞き手：渡邊守章
「世阿弥生誕650年『翁』記念トーク」
鼎談：天野文雄、松岡心平、渡邊守章
「大学」の劇場が切り開いていくもの
—芸術系大学における「創造」と「研究」をめぐる
対談 尾池和夫学長×渡邊守章 他

『葵上／二重の影』

能ジャンクション『葵上』/マルチメディア・パフォーマンス『二重の影』

2014年3月29日(土)/30日(日) 予定

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

「能ジャンクション」は、1980年代後半に、現代演劇と能狂言の「ジャンクション」として発想されたもので、その第一作が湯浅譲二のミュージック・コンクレートを素材に、渡邊守章がPARCO PART IIIの「客席貫通型」舞台で構成・演出をした実験演劇です。故観世樂夫が本行通りの『葵上』のシテを舞い、当時まだ20歳になったばかりの野村武司(現萬斎)が、狂言以外の作品に初めて挑戦した舞台で、萬斎ブームの火付け役ともなった作品です。言わば「脱構築」的な実験で、湯浅音楽と能の音楽、「源氏物語」の原文と円地文字現代語訳等をコラージュした舞台です。今回は、能のシテを観世鏡之丞、現代の若者を茂山童司のお二人が演じ、「マラルメ・プロジェクト」以来の高谷史郎氏の映像が、

春秋座版「能ジャンクション」を出現させます。『二重の影』は、大使として日本に駐在したこともある二十世紀最大の劇詩人ポール・クロードの集大成的戯曲『縞子の靴』の一場で、「二禁じられた恋を生きた恋人の激しい情念が、「男女一体の影」としてモロッコの白壁に出現するという、異常な強度に貫かれた「一人語り」です。クロードがマラルメに学んだ「世界書物」の発想に、中国の「韓憑説話」の語る「引き裂かれて埋葬された恋人たち」の情念が、「根と枝を絡めた二本の木」になるという「不可能な恋の情念」の表象を繋いだものです。白井剛、寺田みさこのお二人が、高谷映像と共に、宇宙的な恋の情念を踊ります。
渡邊守章(京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授)

構成・演出——
渡邊守章
映像・美術——
高谷史郎
出演(予定)——
観世鏡之丞(3月29日)
茂山童司
白井剛
寺田みさこ
後藤加代



2012年度「マラルメ・プロジェクトⅢ」より 白井剛・寺田みさこ 撮影：清水俊洋

未来のダンスのためのスカラーシップ ダンスゼミ&ラボ vol.2/3 think, think, think! and dance, dance, dance!!

京都造形芸術大学舞台芸術研究センターでは、次世代を担うダンサー・コレオグラファーの継続的な育成・支援を目的として、2013年3月から3カ年計画で「ダンスゼミ&ラボ」を立ち上げました。
身体と批評、その社会的発信をテーマにした講座(=「ゼミ」)を行いながら、気鋭のダンサー・コレオグラファーを招いてのワークショップ(=「ラボ」)を行い、批評と創作が密接にリンクした環境を作り上げ、あらたなダンスの地平を開く道すじを探ります。

今年度はワークショップ(=「ラボ」)講師としてタイの伝統仮面舞踊「コーン」の舞踊手、ピチュ・クランチェン氏をお招きします。伝統と現在、未来の時間の繋がりについて、そしてアジアの可能性について、参加ダンサーたちと探っていきます。
参加ダンサーは公募します。また、さまざまなジャンルの講師を招いてのゼミは一部公開予定です。講座(ゼミ)講師や募集の詳細は12月下旬ごろ、京都芸術劇場ホームページなどでご案内予定です。ぜひ奮ってご応募、ご参加ください。

企画——
山田せつ子、橋本裕介、森山直人



2013年度ワークショップ講師 ピチュ・クランチェン氏 ©Hong Kong Cultural Center

平成25年度文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業



2011年度「春秋座 能と狂言『葵上』より 観世鏡之丞 撮影：清水俊洋

2014年2月26日(水)
— 3月10日(月) 予定

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

平成25年度文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業



2012年度ダンスゼミ&ラボ
ショーイングより
撮影者：清水俊洋
ワークショップ講師 リア・ロドリゲス氏

どこにでもある小さな人生を壮大なスケールで辿る、祝祭スペクタキュラー演劇
 演じるシニア企画 2013 春秋座サバイバース 『レジェンド・オブ・LIVE』

「春秋座サバイバース」 始動!!

2013年夏から毎月1回、プロデューサーや照明家、演出家、能楽師、ダンサーなど舞台芸術の様々な分野の講師によるワークショップを受け、「春秋座の舞台に立つ」60才以上の精鋭32名。そして、10～20代の若き大学生7名。新進気鋭の若手演出家・杉原邦生とともに、春風薫る3月春秋座に伝説となる舞台を創り上げます。どうぞ、ご期待ください。

構成・演出・美術：杉原邦生

出演
 一般公募で集まった60才以上の出演者32名 & 京都造形芸術大学 学生7名



撮影：堀川高志

2014年3月22日(土) / 23日(日)

◎公演情報の詳細はスケジュールをご覧ください。

ただ今、「春秋座に立つ」ために、「舞台」がどんな場所なのか。舞台に立つ各ジャンルのプロはどんな緊張感と心構えを持ち、どんな「身体」でいるのかを感じ、知るためのワークショップが進行中!

7月13日(土)



初回ワークショップ & 面談

講師：杉原邦生 [演出家・舞台美術家]

まずは今回の作品の演出家・杉原邦生のワークショップを体験。

8月24日(土)



第2回「舞台を知る! その1・劇場」

講師：橋市郎 [プロデューサー]

春秋座が一体どのような劇場なのか。舞台機構や特徴をプロデューサーの橋氏によるレクチャー中。



奈落とセリを体験!



回り舞台の構造を見学。

9月



宣伝用の本格的な写真撮影

9月28日(土)



第3回「舞台を知る! その2・照明(あかり)」

講師：岩村原太 [照明家]

舞台作品に欠かせない「照明(あかり)」。舞台を日常空間にも見せ、非常識空間にも魅せる、その効果が生まれるポイントを探りました。



studio21 での実演。



自然光の下でのレクチャー。

高校演劇コンクール近畿大会優秀校

第13回「春秋座」『演じる高校生』招待公演

今年の出場校は
2013年12月28日(土)に決定!

2014年2月9日(日)

◎公演情報の詳細はスケジュールをご覧ください。

あなたは高校生の演劇をみたことがありますか?

「演じる高校生」とは、12月に開催される高校演劇コンクール近畿大会の優秀校2校を春秋座の本格的な舞台に招待し、作品を上演する企画です。春秋座の柿落し(こけらおとし)以来、毎年開催し今年度で13回目を迎えます。

今年はこの高校が春秋座の舞台に立ち、どんな作品を上演するのか。ご期待下さい!

昨年出場校インタビュー

昨年出場校大阪市立鶴見商業高等学校・難波優華さんと精華高等学校(大阪)の現部長・越知ひかりさんにお話を伺いました。

●出場が決まったときのお気持ちはいかがでしたか?
 信じられないという気持ちでいっぱいでした。近畿代表ということでプレッシャーはすごかったですが、作品をもっと多くの方に観ていただけたらと思うとすごく気持ちが高まりました。

●地に足が付かないとか、正直、鶴見商業高校の作品とあまりに毛色が違うので、びびっていました。

●春秋座の舞台に立った感想はいかがでしたか?
 舞台に立つ前は、私たちがこんなスゴイ舞台でできるなんて、と緊張していましたが、やってみてとても楽しかったというのが感想です。観客の方の反応を身近に感じることができ、たくさんの拍手をいただいて本当に感動しました。

去年、大谷高校の芝居をここで観て「すげーなー」って、お口ばかん状態だったので嬉しかったのが一番、幕が下りて自分達がすごく緊張してたのがわかりました。熱を出して寝込んだ先輩もいましたから(みかん先輩)。

●出演後の周りの反応はいかがでしたか?
 はじめて観られた方からも、何度か観られた方からも「よかった、全国も頑張れ」という激励のお言葉をいただきました。私たちが伝えたいことが伝わったかと思いい、やってよかったと思うとともに、すごく励みになりました。

●演劇をやっている同じ高校生に自分達の存在を知ってもらえたのは大きかったです。沢山応援もいただきましたし、友達も増えました。でも学校内ではびっくりするくらい何も変わってないという(笑)...

上演校決定までの過程

地区大会・各府県大会(参加校: 276*)

*近畿高等学校演劇協議会加盟校

近畿大会(参加校: 10)

春秋座招待公演(参加校: 2)

★昨年出場の大阪市立鶴見商業高等学校は2013年8月の全国大会で最優秀賞を受賞されました!



大阪市立鶴見商業高等学校『ROCK U!』



精華高等学校『駱駝の憩息』

舞台芸術学科2013年度 第4期生 卒業制作公演

京都造形芸術大学舞台芸術学科研究室
 Tel.075-791-8103 (平日9:00~17:00)

今年も京都造形芸術大学舞台芸術学科の卒業制作公演が始まります。11月から2014年1月まで、5企画によるダンスや演劇公演が学内で行われます。

学生たちの旬の舞台をお見逃しなく!

◎ダンス-studio21

11月9日(土) 13:00、10日(日) 13:00 / 18:30

楠企画「ラ・ボエム」

ジャコモ・プッチーニの傑作オペラ「ラ・ボエム」。本作品ではその戯曲を用い、プッチーニの名曲を七五調台詞に置き換えて再構成。独自解釈した世界観での演劇化に挑戦。圧倒的な現実には彼らの虚構に侵食する。



◎演劇-悠々館3階 Y31 (リハーサル室)

11月9日(土)・10日(日) 16:30、11日(月) 15:00

ZANGE「オセロー」

目が耳が鼻が顔が手が足が体が心が魂がいくつあるならわかるでしょうか。どうしようもないがらみに一人。我、自分自身の奴隷。我、自分自身の主人。「オセロー」を一人芝居で立ち上げます。



◎ダンス-studio21 展示-人間館1階

展示 11月18日(月)~21日(木) 9:00~20:00

公演 12月5日(木)、6日(金) 18:30、7日(土) 13:00 / 16:00

花柄パンツ
 「これが私だと思う、たぶん。」

今回は「私たち世代」を全面に押し出すテーマでの展示作品と舞台作品の2部構成です。(展示期間中は4つの部屋が出現し、そこでパフォーマンスが生活します)。



◎ダンス-studio21

11月22日(金) 19:30、23日(土) 18:30
 24日(日) 14:00

HanaKen ソロダンス企画「そこに立つと」

私達はいつも気づかないでいた。確証もない時間があることを信じていた。だから、自分の足元すら見えていなかった。



◎演劇-春秋座

2014年1月12日(日) 17:00、13日(月) 14:00

KAMELEON・V7
 「ラディカル・パーティー」

誰もがみんな放浪者。自分の行く道を探してる。本当はなにも見えてない。それでもぼくらはがむしゃらに。待ってたってやってこない、待ってるだけじゃ意味がない! 未来へ踏み出す、はじめの第一歩!



舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点 テーマ研究会 I～IVのご案内

京都造形芸術大学舞台芸術研究センターは今年度より、文部科学省の定める共同利用・共同研究拠点に認定されました。

これは、広範な学術研究の発展のため、個々の大学の枠を越え設備や資料などを全国の研究者が共同で利用し、研究をおこなう体制を整備し、学術研究の基盤を強化す

ることを目的に、文部科学省が平成20年に認定制度を設けた制度です。現在、共同利用・共同研究拠点として41大学(29国立大学、12公私立大学)90拠点が認定されています。

当センターでは、本学研究者が中心となって行う「テーマ研究課題」と、学外の

研究者に広く課題を公募する「公募研究課題」(次年度より実施)を実施予定です。京都芸術劇場を使用したいわば「劇場実験」を核とするプロジェクトをとおして、学術研究の基盤強化および新たな学術研究の展開を目指します。

テーマ研究 I

「近代日本語における〈声〉と〈語り〉」(全7回予定)

▶スケジュール欄に情報あり

◆研究リーダー：渡邊守章(京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授/演出家)

テーマ研究 II

「舞台芸術における音/リズム/ドラマツルギーをめぐるジャンル横断的研究」

◆研究リーダー：森山直人(京都造形芸術大学舞台芸術学科教授/現代演劇研究)

テーマ研究 III

「〈マルチメディアシアターの再定義〉をめぐる実践的研究」

◆研究リーダー：渡邊守章(京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授/演出家)

テーマ研究 IV

「現代の舞台芸術における照明技法ならびに照明美学の問題」

◆研究リーダー：岩村原太(京都造形芸術大学舞台芸術学科准教授/照明デザイナー)

9月6日開催

「第1回 日本の伝統演劇における〈語り〉1: 狂言の場合」

ゲスト講師…野村万作先生(人間国宝)



photo: SHIMIZU Toshihiro

「大学の劇場」を活用した総合的な舞台芸術アートマネジメント 人材育成事業

京都造形芸術大学舞台芸術研究センターでは、舞台芸術の未来を切り開く「真に創造的なアートマネジメント人材」の発掘・育成、およびリカレント教育を目的として、「大学の劇場」としての京都芸術劇場の諸機能を活用しながら、〈伝統〉から〈コンテンポラリー〉まで、複数のジャンルからなる以下のアートマネジメント人材育成プログラムを開催いたします。

制作者を限定対象にした講座以外に一般の方にも広く公開する講座を右記の通り開催します。ぜひご参加ください。

舞台制作者のための「舞台芸術論」

舞台芸術における「真の創造性」とは何であり、かつまた、その「創造性」にとって「劇場」や「フェスティバル」のような「環境」はどのような役割を果たしてきたのかというテーマについて、舞台芸術史、芸術哲学を幅広く横断しながら批評的に検証するシリーズです。現場主義にとらわれず、アーティストや作品の可能性を的確に見極め、絶えず変化する「社会」の状況に向けて柔軟かつ大胆に「劇場」の役割を発信できる創造的なプロデューサー、制作者にとっては絶対に必要な「教養」を学びます。

会場：京都造形芸術大学(詳細は劇場HPへ) 各日：18時～21時

- | | |
|----------------------|--|
| 第1回
11月1日(金) | 20世紀演劇における「劇場」—創造を可能にする多様な「環境」
講師：渡邊守章、森山直人 |
| 第2回
11月12日(火) | 「祝祭」はいかに「発明」されたか—国際フェスティバルの「起源」
講師：橋本裕介(京都国際舞台芸術祭プログラム・ディレクター兼事務局長)、
渡邊守章、森山直人 |
| 第3回
2014年1月20日(月) | ダンスの「創造性」—ウィリアム・フォーサイスを事例に
講師：浅田彰(批評家/京都造形芸術大学大学院学術研究センター所長) |
| 第4回
2014年1月28日(火) | 現代演劇における「俳優」①—演出家の視点から
講師：三浦基(演出家/京都造形芸術大学客員教授) |
| 第5回
2014年2月10日(月) | 現代演劇における「俳優」②—劇作家の視点から
講師：松田正隆(劇作家、演出家/立教大学教授) |



平成25年度文化庁大学を活用した文化芸術推進事業

2014年度 公開連続講座 日本芸能史 「アジアの中の日本芸能」

前期[全13回] 2014年4月14日～7月21日
後期[全13回] 2014年9月29日～2015年1月19日
毎月曜日 16:30～17:50 受講料/各期 13,000円
京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)

インド、タイ、マレーシア、ジャワ、チベット、中国、韓国などなどのアジアの舞踊と、日本舞踊とは、どこが同じでどこが違うのか。歌舞伎と京劇に類似と違いはあるのか。

アジアを代表する芸能をみずからの目で確かめ、みずからの身体で実感する—そんな夢のような企画が実現しました。

アジアの中で、生まれ育った日本の芸能は、アジア諸国の芸能から何を受容し、何を交え、何を捨てたのか。そしてそれはなぜか。

企画・コーディネーター：田口章子(京都造形芸術大学芸術学部教授)

前 期			
1. 4月14日	総論	理論：諏訪春雄	アジア
2. 4月21日	御神楽	実演：伏見稲荷大社 解説：木戸敏郎	日本
3. 4月28日	カヤグム	実演：金海淑	韓国
4. 5月12日	琴	実演：京都當道会	日本
5. 5月19日	中国の 伝統音楽	理論：孫玄齡	中国
6. 5月26日	楽器 (二胡・胡弓)	実演：木場大輔・鳴尾牧子 解説：茂手木潔子	中国
7. 6月2日	琉球芸能	実演：西江喜春 解説：茂木仁史	琉球
8. 6月9日	常磐津	実演：常磐津都瓦葺・ 常磐津都史	日本
9. 6月16日	日中伝統版画	理論：諏訪春雄	日本 中国
10. 6月23日	絵解き	理論：林雅彦	日本 中国 韓国
11. 6月30日	中国の仮面劇	理論：廣田律子	中国
12. 7月7日	京劇	実演：石山雄太	中国
13. 7月14日	歌舞伎	理論：田口章子	日本
14. 7月21日	拡大版「比較芸能史」 シンポジウム+実演		日本 韓国 マレーシア

後 期			
1. 9月29日	総論	理論：諏訪春雄	アジア
2. 10月6日	文弥人形	実演：東二口文弥人形 浄瑠璃保存会	日本
3. 10月13日	アジアの 人形芝居	実演：福富友子 解説：宇野小四郎	カンボジア
4. 10月20日	日韓中舞踊の 変身	理論：諏訪春雄	日本 韓国 中国
5. 10月27日	サルブリ舞	実演：梁性玉	韓国
6. 11月10日	能	実演：片山九郎右衛門	日本
7. 11月17日	京舞	実演：井上八千代	日本
8. 11月24日	日中地獄破りの 芸能	理論：諏訪春雄	日本 中国
9. 12月1日	バラタナティヤム	実演：横田ゆうわ 解説：石井達朗	インド
10. 12月8日	チベット舞踊	実演：東方芸術文化団 田偉	チベット
11. 12月15日	タイ舞踊	実演：秋元加代子	タイ
12. 12月22日	日本舞踊	実演：坂東温子	日本
13. 1月12日	日本舞踊の 大道具	実演：中田節	日本
14. 1月19日	ジャワ舞踊	実演：佐久間新	インドネシア



2012年度「組踊」公演より 撮影：清水俊洋

●お問い合わせ・資料請求先

京都造形芸術大学 京都芸術学舎
(旧・瓜生山エクステンションセンター)〈人間館NA棟中2階〉

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
Tel.075-791-9124 Fax.075-791-9021

受付/平日：9時～17時(土曜：16時まで)
休日/日曜日・祝日・入学試験実施日・年末・年始

11 november 2013	
<p>1日(金) 18:00</p> <p>「大学の劇場」を活用した総合的な舞台芸術アートマネジメント人材育成事業</p> <p>第1回 20世紀演劇における「劇場」—創造を可能にする多様な「環境」</p> <p>講師：渡邊守章（京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長）、森山直人（京都造形芸術大学舞台芸術学科教授）</p> <p>【自由席】入場無料・申込不要</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p> <p>NA401教室</p> <p>●特集▶P.08</p>

<p>7日(木) 18:30</p> <p>テーマ研究Ⅰ 近代日本語における〈声〉と〈語り〉</p> <p>第4回研究会 近代日本における〈語り〉—鏡花 vs 芥川</p> <p>ゲスト講師：松浦寿輝 朗読：後藤加代 パネリスト：木ノ下裕一、渡邊守章（モデレーター）</p> <p>【自由席】入場無料・申込不要</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p> <p>◆春秋座</p> <p>●特集▶P.08</p>
---	---

<p>9日(土) 17:30</p> <p>～天空の楽人たち舞い奏でる～</p> <p>音輪会 第14回 雅楽演奏会</p> <p>第1部 管絃の部：壹越調音取 迦陵頻破(延只八拍子) 同 急(残楽)</p> <p>第2部 雅楽アラカルト</p> <p>第3部 舞楽の部：中央楽 狛杵 長慶子</p> <p>【発売中・全席自由】3000円 ※当日券は+500円</p> <p>◎音輪会事務局 Tel.090-6961-6765</p>	<p>□ 古典／貸館公演</p> <p>◆春秋座</p>
---	------------------------------

<p>11日(月) 16:30 公開連続講座⑥</p> <p>日本芸能史「淡路人形浄瑠璃」 実演：淡路人形座</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p>
--	-------------------

<p>12日(火) 18:00</p> <p>「大学の劇場」を活用した総合的な舞台芸術アートマネジメント人材育成事業</p> <p>第2回「祝祭」はいかに「発明」されたか—国際フェスティバルの「起源」</p> <p>講師：橋本裕介（京都国際舞台芸術祭プログラム・ディレクター兼事務局長）、渡邊守章、森山直人</p> <p>【自由席】入場無料・申込不要</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p> <p>NA402教室</p> <p>●特集▶P.08</p>
---	--

<p>17日(日) 11:00／15:00</p> <p>あるジーサンに線香を</p> <p>【原作】東野圭吾 『怪笑小説』所収（集英社刊）</p> <p>【出演】モト冬樹、山本陽子、おりも政夫、愛華みれ、松原夏海、桜乃彩音、坂元亮介、田村幸士、川和郁子、おおらいやすこ、草野元紀</p> <p>【発売中・全席指定】※未就学児入場不可</p> <p>一般 7000円 友の会 6500円 学生 6500円</p> <p>T-C OTS KBS 高島屋京都店チケットショップ、セブンイレブン</p> <p>◎公演に関するお問い合わせ KBS 京都事業部 Tel.075-431-8300（平日10:00～17:00）</p>	<p>□ 演劇／貸館公演</p> <p>◆春秋座</p>
--	------------------------------

<p>18日(月) 16:30 公開連続講座⑦</p> <p>日本芸能史「落語」 実演：笑福亭生喬</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p>
---	-------------------

T-C 京都芸術劇場チケットセンター **OTS** 劇場オンラインチケットストア **びあ** チケットびあ— <http://t.pia.co.jpTEL.0570-02-9999> **L-T** ローンチケット
e+ イープラス— <http://eplus.jp> **CN** CN プレイガイド **新聞** 京都新聞文化センター（京都新聞社1F）— TEL.075-256-0007（10-17時※土・日・祝除く）
生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド **KBS** KBS 京都事業部—TEL.075-431-8300（10-17時※土・日・祝除く）
 ＊記載のないものについての開場は開演 30 分前 ＊特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 ＊ユースは 25 歳以下、シニアは 60 歳以上対象（一部公演を除く）
 ＊学生・ユース・シニアは身分証明書提示

<p>25日(月) 16:30 公開連続講座⑧</p> <p>日本芸能史「常磐津」 実演：常磐津都瓦蔵・常磐津都史</p> <p>※第8回講義は公演準備の都合上、春秋座張り出し舞台上で講義を行います。</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p>
--	-------------------

<p>28日(木)、29日(金) 19:00</p> <p>30日(土) 13:00／18:00</p> <p>※受付開始は開演の1時間前、ホワイエ開場は開演の30分前 ※客席へは開演の10分前より整理番号順でのご入場となります。</p>	<p>□ 演劇／主催公演</p> <p>◆春秋座</p>
---	------------------------------

<p>石のような水</p> <p>【発売中・全整理番号付・自由席】※当日券は+500円</p> <p>一般 4000円 友の会 3200円 シニア 3600円</p> <p>学生&ユース 2500円 瓜生山学園生 2000円</p> <p>【30日13時の回は、託児サービスがございます。】</p> <p>料金：1500円（お子様1名に付き） 対象：生後6ヶ月以上7歳未満 詳細・申込：舞台芸術研究センターまでお問合せください。</p> <p>T-C OTS びあ e+ 生協</p>	<p>●特集▶P.03</p>
--	-----------------

12 december 2013	
<p>2日(月・祝) 16:30 公開連続講座⑨</p> <p>日本芸能史「長唄」 実演：今藤政太郎</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p>

<p>5日(木)—23日(月・祝)</p> <p>四代目市川猿之助襲名記念 京都芸術劇場 春秋座 芸術監督就任記念</p> <p>「猿之助への軌跡展」 10:00—17:30 [受付終了17:00]</p> <p>入場料 500円（中学生以下無料） T-C 【休館日 9・10・16日】</p>	<p>□ 展覧会／主催企画</p> <p>●特集▶P.01-02</p>
--	--------------------------------------

<p>9日(月) 16:30 公開連続講座⑩</p> <p>日本芸能史「日本舞踊」 理論：古井戸秀夫</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p>
--	-------------------

<p>16日(月) 16:30 公開連続講座⑪</p> <p>日本芸能史「料理」 理論：棚橋俊夫</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p>
--	-------------------

1 january 2014	
<p>6日(月) 16:30 公開連続講座⑫</p> <p>日本芸能史「尾張万歳」 実演：北川幸太郎</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p>

<p>16日(木) 18:30</p> <p>テーマ研究Ⅰ 近代日本語における〈声〉と〈語り〉</p> <p>第5回研究会 近代日本における〈語り〉—漱石の多様性</p> <p>ゲスト講師：松浦寿輝 朗読：後藤加代 パネリスト：未定、渡邊守章（モデレーター）</p> <p>【自由席】入場無料・申込不要</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p> <p>会場未定</p> <p>●特集▶P.08</p>
---	---

<p>20日(月) 16:30 公開連続講座⑬</p> <p>日本芸能史「京舞」 実演：井上八千代</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p>
---	-------------------

<p>20日(月) 18:00</p> <p>「大学の劇場」を活用した総合的な舞台芸術アートマネジメント人材育成事業</p> <p>第3回 ダンスの「創造性」—ウィリアム・フォーサイスを事例に</p> <p>講師：浅田彰（批評家／京都造形芸術大学大学院学術研究センター所長）</p> <p>【自由席】入場無料・申込不要</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p> <p>NA102教室</p> <p>●特集▶P.08</p>
---	--

<p>28日(火) 18:00</p> <p>「大学の劇場」を活用した総合的な舞台芸術アートマネジメント人材育成事業</p> <p>第4回 現代演劇における「俳優」①—演出家の視点から</p> <p>講師：三浦基（演出家／京都造形芸術大学客員教授）</p> <p>【自由席】入場無料・申込不要</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p> <p>NA102教室</p> <p>●特集▶P.08</p>
--	--

2 february 2014	
<p>2日(日) 14:30</p> <p>春秋座 能と狂言</p> <p>【11月20日(水) 発売、友の会先行発売 11月19日(火) 発売・全席指定】</p> <p>S席 一般 7000円 友の会 6000円 シニア 6500円</p> <p>A席 一般 6000円 友の会 5000円 シニア 5500円</p> <p>学生&ユース席 2500円</p> <p>T-C OTS びあ e+ 生協</p>	<p>□ 古典／主催公演</p> <p>◆春秋座</p> <p>●特集▶P.04</p>

<p>3日(月) 13:00／16:30</p> <p>市川猿之助 春秋座特別舞踊会</p> <p>【12月4日(水) 発売、友の会先行発売12月3日(火)・全席指定】</p> <p>一般 6000円 友の会 5000円 シニア 5500円</p> <p>学生 & ユース席 3000円（座席範囲指定有）</p> <p>T-C OTS びあ 新聞 生協</p>	<p>□ 舞踊／主催公演</p> <p>◆春秋座</p> <p>●特集▶P.02</p>
--	--

<p>9日(日) 14:00</p> <p>高校演劇コンクール近畿大会優秀校</p> <p>第13回「春秋座」招待公演 演じる高校生</p> <p>【11月26日(火) 発売・全席指定】</p> <p>一般 1500円 友の会 1200円 学生&ユース 500円</p> <p>T-C OTS 生協</p>	<p>□ 演劇／主催公演</p> <p>◆春秋座</p> <p>●特集▶P.06</p>
---	--

<p>10日(月) 18:00</p> <p>「大学の劇場」を活用した総合的な舞台芸術アートマネジメント人材育成事業</p> <p>第5回 現代演劇における「俳優」②—劇作家の視点から</p> <p>講師：松田正隆（劇作家、演出家／立教大学教授）</p> <p>【自由席】入場無料・申込不要</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p> <p>NA401教室</p> <p>●特集▶P.08</p>
---	--

<p>21日(木) 18:30</p> <p>テーマ研究Ⅰ 近代日本語における〈声〉と〈語り〉</p> <p>第6回研究会 近代日本における〈語り〉—折口信夫と三島由紀夫</p> <p>ゲスト講師：松浦寿輝、安藤礼二 朗読：後藤加代 パネリスト：石田英敬、浅田彰、渡邊守章（モデレーター）</p> <p>【自由席】入場無料・申込不要</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p> <p>◆春秋座</p> <p>●特集▶P.08</p>
--	---

<p>12日(日) 17:00、13日(月) 14:00</p> <p>KAMELEON・V7「ラディカル・パーティー」</p> <p>【予約500円・当日1000円】 ◎お問合せ：kameleon.v.v.v@gmail.com</p>	<p>□ 演劇／学生公演</p> <p>◆春秋座</p>
---	------------------------------

3 march 2014	
<p>中旬 18:30</p> <p>テーマ研究Ⅰ 近代日本語における〈声〉と〈語り〉</p> <p>第7回研究会 外国文学の影響あるいは反作用</p> <p>ゲスト講師：松浦寿輝、他 朗読：後藤加代 パネリスト：未定、渡邊守章（モデレーター）</p> <p>【自由席】入場無料・申込不要</p>	<p>□ 講演・レクチャー</p> <p>◆春秋座</p> <p>●特集▶P.08</p>

<p>22日(土)、23日(日) 14:00</p> <p>演じるシニア企画 2013</p> <p>春秋座サバイバーズ『レジェンド・オブ・LIVE』</p> <p>【1月22日(水) 発売】</p> <p>一般 1500円 友の会 1200円 シニア 1000円</p> <p>学生&ユース 500円</p> <p>T-C OTS びあ e+ 生協</p>	<p>□ 演劇／主催公演</p> <p>◆春秋座</p> <p>●特集▶P.06</p>
---	--

<p>29日(土)、30日(日) 予定</p> <p>葵の上／二重の影</p> <p>【料金：未定】</p>	<p>□ パフォーマンス／主催公演</p> <p>◆春秋座</p> <p>●特集▶P.05</p>
--	---

<p>舞台芸術学科 2013年度 第4期卒業制作公演</p> <p>2013年11月～2014年3月公演分</p> <p>京都造形芸術大学舞台芸術学科研究室 Tel.075-791-8103（平日9:00～17:00）</p>	<p>●特集▶P.07</p>
---	-----------------

11 november 2013	
<p>9日(土) 13:00、10日(日) 13:00／18:30</p> <p>楠企画「ラ・ボエーム」</p> <p>【予約・当日 500円】 ◎お問合せ：kusunokikikaku2013@gmail.com</p>	<p>□ 演劇／学生公演</p> <p>◆studio21</p>

<p>9日(土)・10日(日) 16:30</p> <p>11日(月) 15:00</p> <p>ZANGE「オセロー」</p> <p>【無料】 ◎お問合せ：zangekikaku@gmail.com</p>	<p>□ 演劇／学生公演</p> <p>◆悠々館 3階 Y31（リハーサル室）</p>
--	---

<p>展示 18日(月)～21日(木) 9:00～20:00</p> <p>公演 12月5日(木)、6日(金) 18:30</p> <p>7日(土) 13:00／16:00</p> <p>花柄パンツ「これが私だと思っ、たぶん。」</p> <p>【無料】 ◎お問合せ：hanagarapantsu@gmail.com</p>	<p>□ ダンス／学生公演</p> <p>◆展示—人間館1階 ◆公演—studio21</p>
---	---

<p>22日(金) 19:30、23日(土) 18:30</p> <p>24日(日) 14:00</p> <p>HanaKen ソロダンス企画「そこに立つと」</p> <p>【予約・当日 300円】 ◎お問合せ：kuad.hanawasoro13@gmail.com</p>	<p>□ ダンス／学生公演</p> <p>◆studio21</p>
---	------------------------------------

1 january 2014	
<p>12日(日) 17:00、13日(月) 14:00</p> <p>KAMELEON・V7「ラディカル・パーティー」</p> <p>【予約500円・当日1000円】 ◎お問合せ：kameleon.v.v.v@gmail.com</p>	<p>□ 演劇／学生公演</p> <p>◆春秋座</p>

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも早く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はささやかですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!
(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
- ③ 当劇場主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどもご案内!

《入会方法》

Case 1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月～金 10～17時)

Case 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費 2000 円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途 100 円程かかります。)

[口座番号] 00970-7-176517 [加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

[通信欄] ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④FAX(あれば)

[ご依頼欄] お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【オンライン会員】

登録無料! 24 時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!
公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。
(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

芸術劇場ブログをご存知ですか?



「舞台裏からコンニチハ!」
ちょっとレアな本番前の舞台裏風景を
紹介します。

「スタッフの徒然」コーナーの特集 week!より
劇場周辺情報。スタッフおすすめの周辺のお店をご案内。

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>

公式 HP には載っていない制作担当者による公演のミニ情報や舞台裏の制作風景、春秋座を支えている学生スタッフのコメントや連載「プロデューサー目線」など、さまざまなコンテンツを揃えています。

そんな中、ひそかなファンが多いのが「スタッフ徒然」コーナー。スタッフの愛猫を紹介する「今日はニャンの日」、観劇の行き帰りにおすすめのラーメン店を案内する「ラーメン特集」など楽しい情報も盛りだくさんです。

公演情報と合わせて、ぜひご覧ください。

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240

営業: 平日 10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>

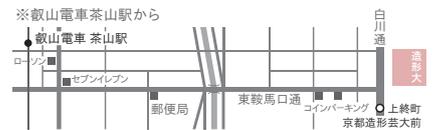
E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>

京都芸術劇場

検索



◎ JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス 5 番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約 50 分、三条駅・河原町駅から約 30 分)

◎ 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス 204 循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約 15 分)

◎ 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約 10 分

発行/編集 京都造形芸術大学舞台芸術研究センター
デザイン 吉羽一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター
vol.27 発行日—2013年11月1日